

科目名		授業形態	担当教員名	
整形外科科学Ⅰ		講義	大永 寛・久保 周平	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
本講義では、すでに修得した解剖学、生理学、運動学の基礎知識を前提とする。特に運動器系の構造理解が重要となるため、講義前半では解剖学や運動学の基礎知識を復習し、運動器の評価および検査法、整形外科的治療法について学び、整形外科疾患の中で外傷性疾患について理解することを目指す。				
授業の到達目標				
1. 運動器の評価、検査方法を説明できる。 2. 整形外科的治療法について説明できる。 3. 骨折について説明できる。 4. 関節における外傷性疾患を説明できる。 5. 末梢神経における外傷性疾患を説明できる。 6. 腱・靱帯における外傷性疾患を説明できる。 7. 脊椎疾患を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	整形外科基礎知識①：骨、関節 【大永】			
2	整形外科基礎知識②：筋、神経 【大永】			
3	運動器の評価および検査法 【大永】			
4	整形外科的治療法 【大永】			
5	外傷性疾患 概論 骨折とは 骨折の各論①：体幹の骨折 【久保】			
6	骨折の各論②：上肢の骨折 【久保】			
7	骨折の各論③：下肢の骨折 【久保】			
8	関節における外傷性疾患 捻挫と脱臼 【久保】			
9	末梢神経における外傷性疾患 概論 神経損傷とは 【久保】			
10	末梢神経における外傷性疾患 各論①：腕神経叢麻痺、橈骨神経麻痺 【久保】			
11	末梢神経における外傷性疾患 各論②：尺骨神経麻痺、正中神経麻痺、腓骨神経麻痺 【久保】			
12	末梢神経における外傷性疾患 各論③：絞扼性神経障害、その他の末梢神経障害 【久保】			
13	腱・靱帯における外傷性疾患 【久保】			
14	脊椎疾患①：脊椎の種々の疾患、加齢による変形性脊椎症 【久保】			
15	脊椎疾患②：脊柱の変形、後縦靱帯骨化症、脊椎の奇形 【久保】			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	授業の理解度を評価する		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科科学 第5版	立野勝彦・染矢富士子		医学書院	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第6版	野村巖 編		医学書院	
PTOTST標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 画像評価	宮越浩一 編		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準整形外科学 第14版	井樋栄二 他 編		医学書院	
自由記載				
備考				